

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・R1年度)

①基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17015	都市計画道路整備事業(和賀白川線)		課名	土木課 施設整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:道路の保全・整備			款	08:土木費
	施策の方向	01:幹線道路の整備			項	02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト			目	03:道路新設改良費
	事業予定期間		H 17 ~ R 7 年度	主な根拠法令要綱等		道路法、道路構造令

② 目的・概要	対象	市民及び来訪者			
	目的	当路線は県道鈴鹿関線、国道306号、市道亀田川合線、市道亀田小川線、住山11号線で結節された市内環状線として位置づけられており、環状線は本市における産業発展と市民生活の根幹を担う重要な道路ネットワークである。国道1号から県道鈴鹿関線の区間については平成25年度までに開通しており、国道1号から北側部分と住山11号線を含めた区間を整備する。			
	概要	(北区間) ・幅員12m(2車線、両側歩道) 延長L=800m			

平成29年度			平成30年度		令和元年度	
年度計画			○用地測量 ・和賀白川線 ○用地買収 ・和賀白川線 ○工事 ・亀山市斎場線 ・住山住宅解体工事		○工事 ・和賀白川線 ・住山団地31号線 ・住山住宅浄化槽移転工事	
年度実績			用地測量 ・和賀白川線 A=5.13ha 用地買収 ・和賀白川線 1地権者 工事 ・住山住宅解体工事 2棟			
事業の計画・実績	計画額	事業費	0千円	91,200千円	65,000千円	
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債		86,400千円	61,700千円	
		その他				
		一般財源	0千円	4,800千円	3,300千円	
	予算額	事業費	0千円	50,100千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	0千円	50,100千円	0千円	
	決算額	事業費 ①		49,643千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	0千円	49,643千円	0千円	
	人件費	総人件費 ②	0千円	7,005千円		
		一般職員	0千円	7,005千円		
		所要人員		0.90		
		臨時職員等		0千円		
総コスト(①+②)		0千円	56,648千円			
受益者負担率		0.0%	0.00%			

					平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	整備進捗率	活動	計画値	76	80	82
			実施済み事業費/総事業費		実績値		78	
					単位	%	%	%
	②	名称			計画値			
					実績値			
					単位			
	③	名称			計画値			
					実績値			
					単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおり用地測量委託の発注を行い、用地協力いただく地権者に対し説明を行った。また、住山住宅解体工事の発注を行った。 B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 当事業の財源見直しを検討した結果、今後は交付金事業として事業を進めていくことになった為、斎場線工事を行うことが出来なかったが、用地測量は概ね完了し、全体事業の一部である用地取得を行った。また、斎場線改良に伴う住山住宅の解体工事を行い、事業進捗を図った。 B まずまず成果を得た

⑦今後の対応方針	課題	【課題は何か】 当該事業の財源見直しを検討した結果、今後は交付金事業として事業を進めていくこととなり、計画的な進捗を図る必要がある。	今後の方向性	☐ 拡大
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 財源変更に期間を要するが、各年度の事業計画及び事業費を見直すことにより軌道修正を行い、早期供用開始に向けて事業進捗を図る必要がある。		☒ 現状維持
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 当路線は産業発展と市民生活の根幹を担う重要な道路ネットワークであり、部分供用又は全線供用時点において、移動時間の短縮、安全性の向上、交通の円滑化等の成果が発現される。		☐ 縮小
対応時期			令和元年度	☐ 廃止
				☐ その他
				【その他の場合、その内容を記載】

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動		B			
	成果		B			